

- 美里町には多くの食材・資源があり、これらを活かす仕組みが必要である。
- 地域活性化施設を核に、観光施設や町内外の事業者との連携可能性がある。
- 今や道の駅は各自治体で立地しており、存続するためには他との差別化を図る「売り」が必要である。
- 地域活性化施設は「美里の美しい自然を守り、地域生産者の生活を支える地域活性化（まちづくり）の中心的存在」を担う必要がある。
- 地域に愛される施設にしたい。



今後の方向性

まちづくりの基本理念 「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」

少子高齢化や人口減少、まちづくりの担い手不足、財政状況等、町を取り巻く状況は、目まぐるしく変動し、今後さらに厳しい局面を迎える。

単独自治体で生き残るためには

||

持続可能な地域
ひと・もの・お金が循環する仕組み